

ビーエフ&パッケージ株式会社の環境保全への取組みについて

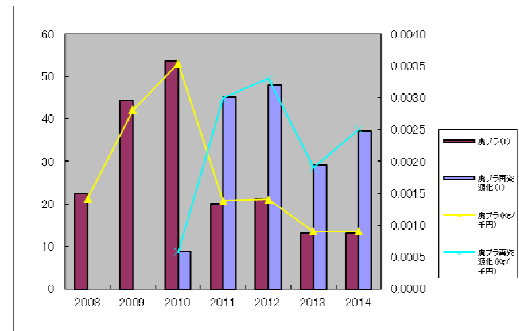
1. 年間の廃棄物量はどれくらい？

ビーエフ&パッケージ(株) 関東工場勝田製造部から出る廃棄物の総量は11,216トンで前年に比べて12.7%減少しています。廃棄物と有価物の分別を実施したこと、廃棄物になっていたものを有価物として引取する方法を検討したことで、リサイクル率が99%と高い水準を維持しています。今後も、より環境にやさしく、有効利用できるものへと進めています。

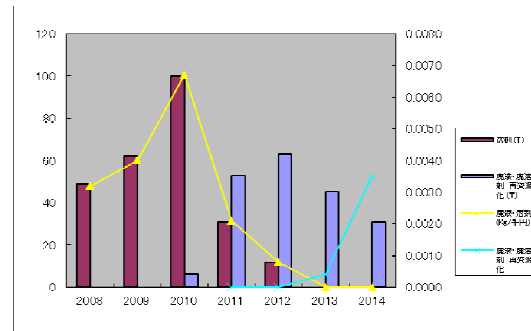
2. エネルギーの使用量はどれくらい？

エネルギーとして使用しているのは電力、灯油、LPGです。灯油につきましては排ガス処理装置(RTO)の稼働や低圧蒸気の有効利用、生産品目の変更により減少しています。また、電力、LPG、用水についても減少傾向が続いています。

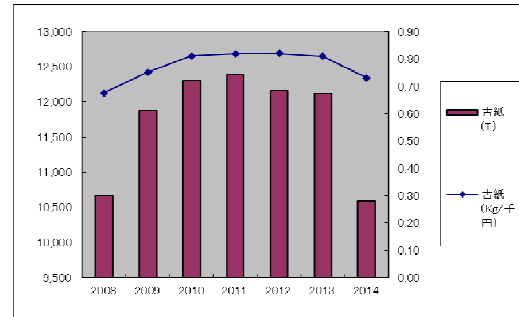
廃プラ



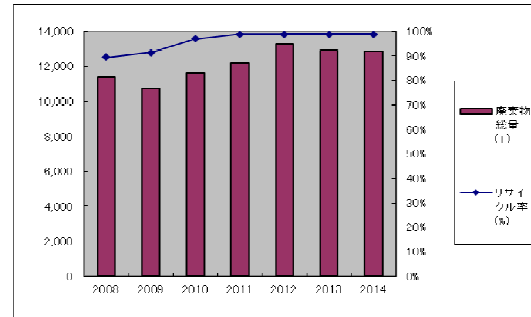
廃溶剤



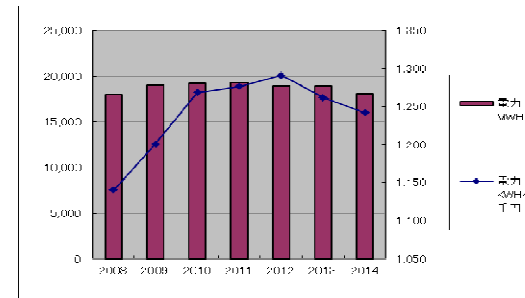
古紙



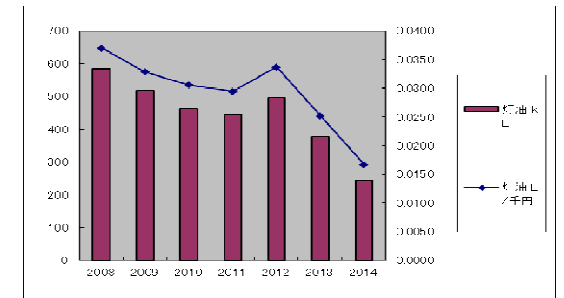
廃棄物総量・リサイクル率



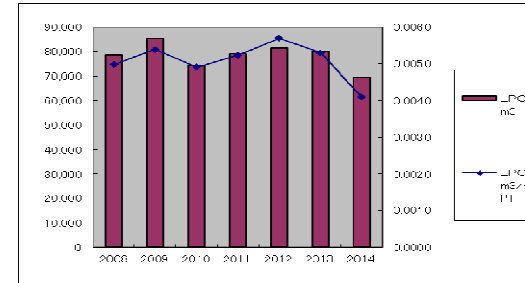
電力



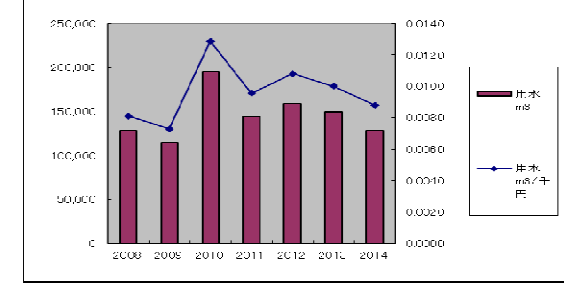
灯油



LPG



用水



※ PRTR制度への取組み

PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)制度とは、事業者が化学物質を環境中に排出、あるいは廃棄物等として事業所の外に移動したデータを把握・集計・公表する制度です。当社の状況は、2008年よりラミネーター設備に蓄熱式燃焼排ガス処理装置(RTO)が稼働、2010年4月にコーター設備にRTOの稼働が開始しています。そのため、トルエンの排出量が大幅に減少しています。トルエンの移動量についても、各ロットでの廃棄量の削減により減少傾向となっています。ダイオキシン類についても2010年9月に焼却炉を停止、ダイオキシン類の発生をなくしました。

※ VOC抑制を進めています

VOC(Volatile Organic Compounds = 揮発性有機化合物)は塗料、印刷インキ、接着剤などに含まれるトルエン、キシレン、酢酸エチルなどが代表的な物質で、大気中の光化学反応により光化学スモッグを引き起こす原因物質の1つとされています。当社はラミネーター設備で蓄熱燃焼式排ガス処理装置(RTO)が稼働し、2010年4月よりコーター設備でも稼働を開始し、VOC排出抑制を進めています。

PRTR	ダイオキシン類 mg-TEQ			トルエン Ton		
	排出量	移動量	合計	排出量	移動量	合計
2010	0.22	140	140	5.2	11.8	16
2011	0	0	0	5.6	21.8	27.4
2012	0	0	0	4.7	23.0	27.7
2013	0	0	0	4.5	13.0	17.5
2014	0	0	0	3.4	4.7	8.1